

アイワードとサブスク契約を締結 ハイデルベルグ

国内4社目の導入決定 コンサルメニューが高評価

ハイデルベルグ・ジャパン(株)本社/東京都品川区、ヨルグ・パウアー社長は6月22日、(株)アイワード(本社/北海道札幌市、奥山敏康社長、石狩工場(北海道石狩市)において記者発表会を開催し、昨年9月にアイワードと国内4社目となるサブスク契約を締結し、今年3月には反転機構付のスピードマスターXL106-4-Pの納入を済ませ、ハイデルベルグ サブスク リプション契約がスタートしたことを発表した。



奥山 社長



大沢 副社長



新設備の前でパウアー社長(中央)と記念撮影

会見には、アイワード ルグ・パウアー社長らが、普及が進んでいるのユニークなサブスクリプションとなっており、アイワードは「市場では、様々な提供の仕組みによって、その内容は大きく異なる。ハイデルベルグが提供するサービスは、end-to-end、装置やソフトやサービス、印刷資材を提供できるサブスクリプションならではの強みがある。今後、より強く、固くパートナーシップでアイワード様のさらなる成功に貢献していきたい」と、未来の成功に向けての継続的なサポートを約束した。

続いて、ハイデルベルグ・ジャパンでサブスクリプションビジネスを担当するライフサイクルソリューションズ本部の草壁直人氏より、ハイデルベルグ サブスクリプションの概要が紹介された。



反転機構付スピードマスター XL106-4-P

このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。

「このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。」

「このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。」



印刷資材の在庫管理システムの棚

「このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。」

「このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。」

「このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。」

「このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。」

「このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。」

「このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。このあと、ディスカッション形式で導入経緯を説明した。」